



NO.562

暗号資産でもうかるはずだったのに…

SNSを利用した投資詐欺に関する相談が増えています。

相談

SNSで知り合った女性と仲良くなり、暗号資産(仮想通貨)の投資を勧められた。よく分からないうと断ったが、「絶対にもうかるから一緒にやろうよ。私が先生になる」と言われ、やってみることにした。指示に従って海外の投資サイトで2万円分の暗号資産を購入した。サイト内で暗号資産の取引価格をグラフで見ることができたが、翌日には価値が2倍になった。お金も簡単に引き出せたので、追加で50万円を投資した。その後、投資額の3倍のもうけが出たので引き出そうとするのできなかった。女性に相談すると、「手数料など58万円が必要と言われた。サイトに手数料を振り込んだが、お金は引き出せず、女性とも連絡が取れなくなりました。」

SNSやマッチングアプリで知り合った人から投資の勧誘を受け、お金

消費生活センター(ステーションビル3階) ☎7533・5555

をだまし取られる詐欺被害が多発しています。

暗号資産は日本円やドルのように国がその価値を保証している「法定通貨」ではなく、インターネットを通じて取引される電子的価値のあるデータです。一般に暗号資産の入手・換金の取引は「取引所」や「販売所」と呼ばれる事業者(暗号資産交換業者)を通じて行われます。交換業者は金融庁・財務局への登録が必要です。海外で金融商品取引のライセンスを持つ業者であっても日本で登録しなければなりません。

事例の場合、相手や投資サイトの実態は全く分かりませんでした。相談者が信じたサイト内のグラフもサイトが作った偽情報と思われる。払ったお金を取り戻すことは極めて困難です。確実にもうかる話はありません。SNSやマッチングアプリで知り合った相手の指示で安易に投資することはやめましょう。自分がよく理解できない投資話には乗らないことです。



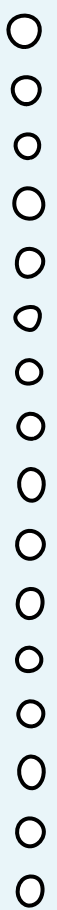
Q 往診と訪問診療の違いって？

A 「往診と訪問診療って、何が違うのですか？」

時々、こういった質問を受けることがあります。往診と訪問診療を同じ意味合いで認識されている方が多いです。

往診というのは、通院困難な患者の依頼を受けて、医師が患者に赴き、診療を行うことをいいます。突発的な病状の変化に対して、救急車を呼ぶほどでもない場合など、普段からお世話になっているかかりつけ医にお願いして診察に来てもらうもので、基本的には困ったときの臨時の手段です。

一方で訪問診療は、毎週〇曜日の〇時から、などと約束し医師が診療



計画を立てた上で訪問し、診療を行うこととされています。多くは2週間に1回、定期的かつ計画的に訪問し、診療、治療、薬の処方、療養上の相談・指導などを行います。また、患者やご家族の方からご相談を受けた時点で、これまでの病歴、現在の病状などを詳しく聞くとともに、関わりのある医療機関などから情報収集を図ります。その上で、どのような治療を受けたいのかを詳しく聞きながら、診療計画や訪問日程を立てていきます。急変時には緊急訪問に伺ったり、入院の手配を行ったりするなど、「ホームドクター」として臨機応変に対応し、在宅療養を支えています。中でも、在宅療養支援診療所とは病気や障がいなどで自宅療養中にもかかわらず病院への通院が困難な方に対して、医師や看護師が定期的に訪問し、診療や看護を行う医療機関です。24時間365日、医師や看護師と連絡を取ることができ、緊急訪問が可能な体制を整えています。訪問診療の必要性を感じたら、訪問診療が可能なクリニックへご相談ください。

池田市医師会